

山梨県子ども読書支援センター 2026.3

子ども読書支援センターは、子どもの読書に関わる大人の方々をサポートする山梨県立図書館の機能です。当センターの事業や活動内容についてご紹介します。



調べ方がわかる！ パスファインダーを作成しました。

【小学校高学年・中学生・高校生向け】

子ども読書支援センターでは、小学校高学年・中学生・高校生向けに、調べるテーマについての情報の探し方をまとめた、パスファインダーを作成しています。今年度、修学旅行の事前学習に役立つテーマや、「日本の伝統文化」、山梨の「印章」、「信玄堤」など7つのテーマを新たに作成しました。調べ学習・探究学習などで、ぜひご活用ください。

- 1「沖縄」について調べよう！
- 2「物質の状態」について調べよう！
- 3「日本の伝統文化」について調べよう！
- 4「SDGs:目標2. 飢餓をゼロに」について調べよう！
- 5「SDGs:目標11.住み続けられるまちづくりを」について調べよう！
- 6「印章(はんこ)」について調べよう！
- 7「信玄堤と治水」について調べよう！



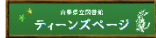
▲パスファインダー見本
「日本の伝統文化」について調べよう！

▲パスファインダー見本
「信玄堤と治水」について調べよう！



館内でも配布しているほか、県立図書館ホームページにも掲載しています。児童生徒1人1台端末へのダウンロードも可能です。

■調べてみよう〈パスファインダー〉



〉調べてみよう〈パスファインダー〉

<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/teens/folder698/search.html>



「調べてみよう〈パスファインダー〉」のページ

第4回・第5回子どもの読書オープンカレッジを開催しました。

「子どもの読書オープンカレッジ」は、山梨大学附属図書館子ども図書室との共催で、年5回開催している、子どもの読書について学ぶ初心者向けの講座です。



▲杉山亮氏

第4回は12月11日(木)、「ものがたりを語りながら考えていること」と題して、児童書作家、ストーリーテラーの杉山亮氏にご講演いただきました。前半は学校や図書館のお話会でのエピソードをもとに、子どもたちと物語を介して楽しい時間を作るための工夫についてお話されました。後半は、素話や言葉遊びの実演があり、参加者は杉山氏の語りを楽しみながら学びを深めました。

第5回は3月4日(水)、山梨大学大学院総合研究部教育学域人間科学系(芸術身体教育講座)准教授の武末裕子氏を講師に迎え、「アクセシビリティを拡げる絵本の取り組みについて～イタリア全国視覚障害者支援施設連盟の絵本を中心に～」と題し、ご講義いただきました。病気や障害で美術館に足を運べない方に向けて「文化施設をアウトリーチするとしたら」という視点に立って活動する講師から、イタリアのさわる絵本など、多くの事例を紹介いただきました。

後半は、社会福祉法人山梨ライトハウス情報文化センターの功刀庸子氏・望月苑海氏による点字のミニワークショップを行い、参加者は点筆を使って点字を書く(打つ)体験をしました。



▲武末裕子氏

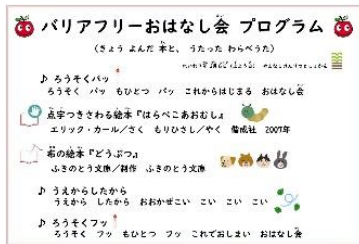


▲点字を打つ様子



さわって楽しむ！バリアフリーおはなし会を開催しました。

12月6日(土曜日)、障害者週間(12月3日～9日)に合わせて、点字つきさわる絵本や布の絵本を使ったおはなし会を開催しました。毎週行っている「とことこおはなし会」は、絵本の棚にある本を使いますが、今回は児童カウンター横にある「りんごの棚」のバリアフリー図書(紙に書かれた文字を読むのが難しい方むけに作られたさまざまなタイプの本)を使用しました。



当日のプログラム
※点字版も作成

大人と子ども合わせて10名の参加がありました。参加者は、読み聞かせに合わせて点字つき絵本『はらぺこあおむし』や、布の絵本『どうぶつ』を見たり触ったりして楽しみました。わらべうた「うえからしたから」では、ハンカチを広げて上下に動かし、風をおこしたり感じたりして遊びました。

おはなし会終了後、バリアフリー図書を自由に読んだりさわったり、体験する時間を設けました。



「りんごの棚」について、詳しくは当館ホームページをご覧ください。

https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/ringonotana.html

「りんごの棚」のページ

学びを終えて…

令和7年度子どもの読書ステップアップ講座(第3回・第4回)

当センターでは、年間全4回の「子どもの読書ステップアップ講座」を開催しています。県内の読書活動推進の核となる人材を育成することを目的に、専門理論と実践力を学ぶ講座です。

令和7年12月24日(水曜日)第3回は、青山学院大学教育人間科学部教授・学部長の野末俊比古氏をお招きし、「AI/DX時代の情報リテラシー教育～読書能力の育成と図書館の役割～」をテーマにご講義いただきました。

従来の人工知能と生成AIとの違いや、デジタル化による我々の意識の変化を考えることから始まり、読書能力としての情報リテラシーの育成についてお話いただきました。実習にはオンライン投稿アプリを使い、会場とオンラインの受講者がそれぞれの意見を聞きながら読書とは何かを考えることができました。受講者からは「AIへのイメージが変わった」「読書能力の育成に取り組む意味が確認できた」等の声が寄せられました。



▲野末俊比古氏

第4回は令和8年1月28日(水曜日)、「みんなで子どもの読書支援～書店、地域の施設・大学、ボランティア等との連携事例から学ぶ～」をテーマに多摩市教育委員会教育部図書館企画運営担当主査の米山薫氏にご講義いただきました。

「多摩市読書活動振興計画」に示された市民・他機関との連携に関する目標をもとに、多摩市立図書館で実施されている連携事業についてのお話でした。公園との事業や地域を盛り上げる書店との取組など、さまざまな機関がつながることで地域が活性化する実例を知る事ができました。後半はグループワークを行い、受講者同士持ち寄った課題について意見を交わしました。受講者からは「連携のヒントをもらえた」「グループワークで刺激を受けた」等の感想がありました。



▲米山薫氏

講義後は閉講式が行われ、全4回に出席し課題を提出した修了者に修了証を授与しました。修了者は「子どもの読書指導者」として登録し、当館ホームページに所属団体名簿を掲載しております。講師依頼の際は、各団体へ直接お問い合わせください。



▲閉講式